

Chapter 05



基本方針1

カーボンニュートラルの実現

市民・事業者・行政がそれぞれ脱炭素につながる行動に取り組み、2050年に「二酸化炭素排出実質ゼロ」を実現することを目指します。

施策の方向性

☑ 脱炭素型ライフスタイルへの転換

- + 衣・食・住・レジャー・移動など、様々な生活シーンで温室効果ガス排出量が少ない生活の普及



住宅の断熱性能を上げることで、温室効果ガス排出量を削減できます。

☑ 産業の脱炭素化の促進

- + 市内事業者の脱炭素化の促進
- + 建築物の省エネルギー化の推進



☑ クリーンエネルギーの利用促進

- + 太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの積極的な導入促進や未利用エネルギーの導入検討



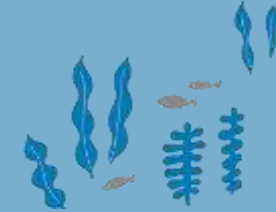
ペロブスカイト太陽電池

ペロブスカイト等の次世代型太陽電池の設置導入を推進します。

- + 燃料電池自動車の普及促進や水素関連機器などの研究開発・実証事業への支援
- + 補助などを通じた電動車の普及や充電インフラの普及促進

☑ 二酸化炭素の吸収と固定

- + 森林や水辺での二酸化炭素を吸収・固定する取組(グリーンカーボン、ブルーカーボン等)の促進



アマモ養殖や藻場の保全によりブルーカーボン生態系を拡大します。

☑ 気候変動への適応

気候変動による避けられない影響に備え、適応策にも取り組みます。

- + 熱中症対策
- + 木陰の創出など都心部の緑化の推進



暑さを和らげるため、都市部の緑化を推進します。

詳しくは 地球温暖化防止実行計画へ

これらの取り組みは、 **ごみの減量と資源の循環** **自然との共生** にもつながります。

例)脱炭素型ライフスタイルの普及でごみを減らす、自然と調和したクリーンエネルギーの普及で神戸の豊かな自然を守る

